

新湊ロータリークラブ週報



よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

例会 毎週金曜日 12:30～13:30

会長 越後 正 幹事 越後 嘉一

No.5

第 2545 回「夜間情報例会」

2025 年 9 月 12 日(金)

ウィークリース本町にて夜間例会開催

移住希望者や一人暮らし希望者向けの疑似体験ができるウィークリー賃貸施設がオープン。見学も兼ねて、アットホームな雰囲気で行いました。

◆点 鐘 越後正会長

◆出席報告<会員数:40 名>家族会員含む

出席数	本日出席率(mu 含む)	前々回修正出席率
20 名	54.05%	62.16%



越後会長より施設の説明を受ける。



第 2546 回「外部卓話」

2025 年 9 月 26 日(金)

◆点 鐘 越後正会長

◆ソング 「我等の生業」

◆ゲスト 学校法人浦山学園理事長 浦山 哲郎様
本部長 山崎裕一様

◆9 月在籍祝 津幡晃会員(11 年)

◆幹事報告 10 月予定表配布
ガバナー候補者の推薦について
例会終了後理事会開催

◆出席報告<会員数:40 名>家族会員含む

出席数	本日出席率(mu 含む)	前々回修正出席率
20 名	54.05%	62.16%



ニコニコBOX報告

越後会長・越後幹事・京谷・倉谷

浦山理事長、山崎本部長、本日の卓話宜しくお願いします。

牛塚・片岡 浦山理事長ようこそ新湊クラブへ。大学の件
目一杯 PR して下さい。

赤江 浦山理事長卓話楽しみにしています。

津幡晃 在籍祝を頂いて。

ニコBOX 累計額 ￥162,000

卓話「(仮称)高志大学設立について」

学校法人浦山学園理事長 浦山 哲郎氏

浦山学園設置校について(現状)

富山福祉短期大学(140 名)

富山情報ビジネス専門学校(280 名)

富山福祉短期大学訪問看護ステーション

富山福祉短期大学在宅クリニック



弊学園は、「地学一体による地域課題解決拠点としての教育・研究機関」を Vision (教育の理想) とし、富山情報ビジネス専門学校・富山福祉短期大学などを運営して参りましたが、VUCA の時代を迎え、地域社会の多様な期待や要請に応えるため、2028 年開学を目指し「(仮称)高志(こし)大学」の設立に向けて準備を進めることと致しました。

その背景として、主に下記の課題などがあります。

- 1, 18 歳人口の県外流出(残留率の低さ)及び 18 歳人口減少
- 2, 私立大学が 1 校以下は全国 4 県のみ
- 3, 富山県の私大は石川県の私大の入学定員の 20 分の 1 以下
- 4, 労働供給制約社会の到来
- 5, 若者の可能性

上記の項目などに対応する観点として、産学官の連携の希薄さが起因していると思われますが、「(仮称)高志(こし)大学」は、「地域と若者の未来をつなぐ大学としての役割」そして「地域課題と若者の可能性に向き合う教育機関の創造」をこれまで以上に実践躬行して参ります。

私立大学の定員割れや少子化の局面において何故「大学の新設」か、というコメントを聞きますが、大学は地域社会のインフラ(社会基盤)であり、使命感を持って地域の人材育成や活性化に貢献すべきと考えます。

「地域と大学が一体となって人材を育てる」ことは、地域課題解決の重要事項であり、何よりも地域が大学の存在意義を見つめ直し、地域課題のひとつとして大学教育のあり方を捉えることが求められます。皆様のご理解とご支援を宜しくお願いします。

第 2547 回「外部卓話」

2025 年 10 月 3 日(金)

- ◆点 鐘 越後正会長
- ◆ソング 「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト 射水青年会議所理事長 藤川 護氏
- ◆10 月結婚記念祝 中川・金田・片岡
- ◆10 月誕生祝 棚辺
- ◆幹事報告 ・射水かるた大会案内
・10 月度会費請求書発行
- ◆出席報告<会員数:40 名>家族会員含む

出席数	本日出席率(mu 含む)	前々回修正出席率
23 名	64.86%	62.16%



ニコニコBOX報告

(伊勢崎中央 RC) 羽鳥様・久保田様

私的な曳山観光に過分なるおもてなしを受けました
感謝の意を込めてニコ BOX します。

越後会長・牛塚・越後幹事

藤川理事長、今日の卓話よろしくお願ひします。

穴田 牛塚 G 補佐、越後会長お世話ご苦労様でした。

片岡・金田 結婚記念祝をいただいて。

ニコ BOX 累計額 ￥186,000-

内川清掃に参加

9/27 に内川べりの清掃を実施。



卓話「健康経営について」

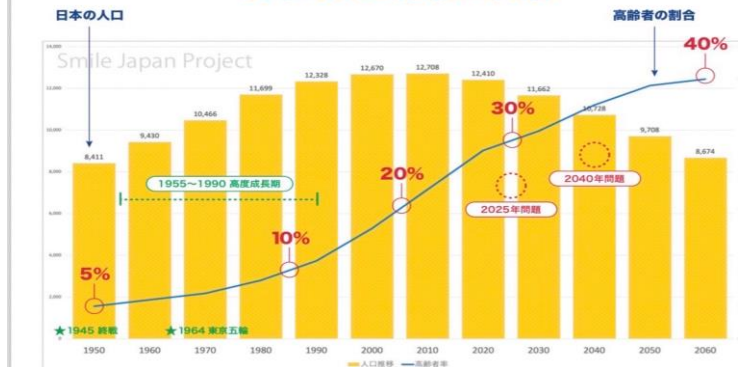
射水青年会議所理事長 藤川 護氏

健康経営とは企業の経営者が**従業員の健康を**
経営資源の一つと捉え、経営的な視点から従業員の健康管理を戦略的に実践する経営手法。
(現状の課題と背景)



日本は超高齢化社会に突入しています。故に労働生産人口の減少が深刻な課題となっています。

日本の人口推移と背景



(プレゼンティーイズムとアプセンティーイズム)

WHO(世界保健機関)によって提唱された健康問題に起因したパフォーマンスの損失を表す指標。

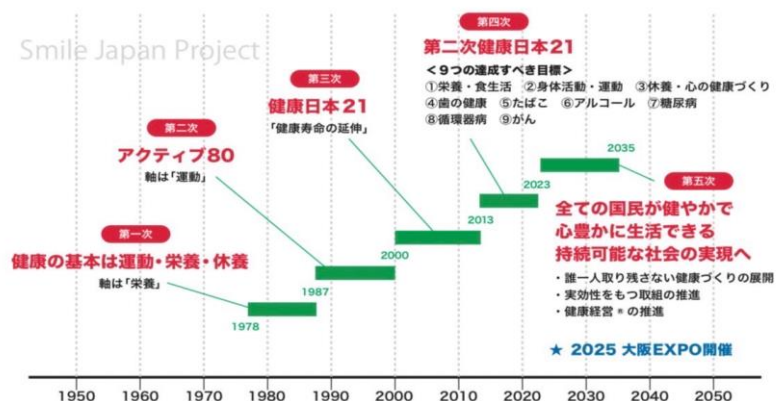
プレゼンティーイズムとは欠勤には至っていないが健康問題が理由で生産性が低下している状態。集中できていない。

アプセンティーイズムとは健康問題による仕事の欠勤。

健康リスクが生産コストに大きく影響している。すなわち従業員の健康が「経営資源」

国は健康づくりの重要性に注目し、時代ごとに変遷しながら施策を推進しています。

健康づくり国策の歴史 (国民健康づくり対策)



企業ごとの健康課題解決は生産性向上と社員満足度の向上に直結します。

メンタルヘルス 定期的なチェックと早期対応。社員が健康で積極的に参加できる環境づくり

生活習慣病 生活習慣病の予防は社員の健康管理に不可欠。
健康教育プログラムの導入

ワークライフバランスは社員のストレス軽減と生産性維持に寄与します。フレックスタイムやリモートワークの導入等で働きやすい環境を整備する。